

平成 29 年 4 月 1 日

平成 29 年度 稲荷教育

京都市立稲荷小学校
校 長 大野 利和

平成 29 年度 京都市学校教育の重点

＜京都市の目指す子ども像＞

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」

- ◆ 京都が育んできた伝統と文化に立脚し、
広い視野と豊かな感性により、よりよい人生や社会を創造する子ども
- ◆ 学校教育を通じた学びを生かし、社会的・職業的自立を果たす子ども
- ◆ 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となる子ども

＜学校教育において重視する視点＞

— 子どもの主体性と社会性の育成を目指して —

「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める

- 1 授業を通して自ら学びに向かう力を育み、身に付けさせる
- 2 家庭での自学自習の習慣をつける
- 3 自他を大切にできる態度を育成する
- 4 「公共の精神」に基づく態度を育成する

＜学校運営の柱＞ ～全教職員で進める確かな学校教育～

①子どもの命を守りきる ②すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点で学校教育を推進する ③教育者としての職責を自覚し、その専門性を高める ④小中一貫教育など校種間連携を推進する ⑤学校の組織力を高め、子ども一人一人の課題に対する支援を行う ⑥保護者・地域と連携・協働した取組を推進する ⑦関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

本校が目指す教育

I 学校教育目標

いきいき なかよく りそうに向かって 考動する子

II めざす子ども像

い
な
り

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 「いきいき」 | ○心も体も元気な子 |
| 「なかよく」 | ○命ときまりを守りきる子 |
| 「りそうに向かって」 | ○目標をもって自ら学び続ける子 |
| 「いなり」 | ○学校・地域を愛する子 |
| ◎「 <u>考動</u> する」…「 <u>考えて行動</u> する」 | |

Ⅲ 学校教育目標の具現化

